

5歳児 すみれ組

『船、よーいどん！』

砂場に作った川で、作った船を流してレースが始まりました。



砂場で川を作って遊んでいるうちに、“船を川で流したい”という意見が出て、船作りと船が良く流れる川作りが始まりました。船作りでは、「これなら濡れても大丈夫かも」と材料を考え、川作りでは、「もっと水をいっぱいにしたら船が流れるんじゃない?」と工夫して川を作っていました。誰かの「やってみよう」が、友達の「こうしたら?」に繋がって、クラス全体の共通の遊びへと広がりました。

自分で考えることも楽しいけれど、友達と協力したり工夫したりすることで、遊びがどんどん発展して、協同性や言葉で伝え合う力、思考力が育っていきます。

また、水に濡れても壊れない材料選びや、流す水の量や勢いを試行錯誤する中で、様々な物の性質や仕組みへの興味や関心にもつながるように、“何で?”“あ、そうか!”という気づきや発見を大切にしています。